

福岡市医師会 定例記者会見資料

ご質問と回答		
NO	ご質問	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症状況と終息見込み</li> <li>・5類移行後の医療現場の変化と課題</li> </ul>	2.総論 …スライド資料の中で お伝え致します。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震支援</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革における医療機関の現状と課題、 医師会の対応、今後の取組み</li> </ul>	4.質疑応答 …質疑応答にて お伝え致します。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ公費支援終了の影響、懸念事項</li> <li>・5類移行後の課題に対する医師会の取組み</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅麹を含む健康食品との関連が疑われる事例</li> </ul>	

※ご質問に対する回答は定例記者会見時点での内容です。今後の感染状況等により内容が変更になる場合があります。

令和6年4月3日

# 定例記者会見

令和6年4月3日(水) 13時30分

質疑応答

福岡市医師会 常任理事 平川 勝之

福岡市医師会 常任理事 中山 英樹



報道機関からのご質問

- ・ 働き方改革現状と課題、対応と取組み

## 1. 働き方改革について

労働基準法改正により平成31年4月から時間外労働の上限規制（中小企業は令和2年4月）  
以下については業務の特性や取引慣行の課題から5年間の猶予

○工作物の建設の事業

○自動車運転の業務

○医業に従事する医師

○鹿児島県及び沖縄県における砂糖を製造する事業

⇒ **令和6年4月より** 時間外労働の上限規制開始

## 2. 医療について予想されること

- (1) 医師派遣の制限や引き揚げ  
… 医療提供体制への影響
- (2) 救急医療や産科医療への影響  
… 医療資源の少ない地域では影響が出始めている
- (3) 診療体制への具体的な影響例  
… 救急搬送の受入、夜間等時間外の診療、受診時の待ち時間増 等

⇒ **必要な医療を必要な時に受けられるように**

## 3. 福岡市医師会の取組み

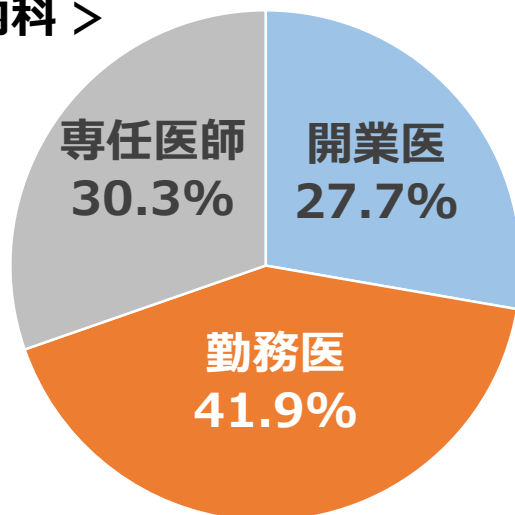
### 「医師の働き方改革検討会議」

- ～ 市内の大学病院、救急病院や有床診療所等と連携を図りながら地域の医療提供体制を維持していく

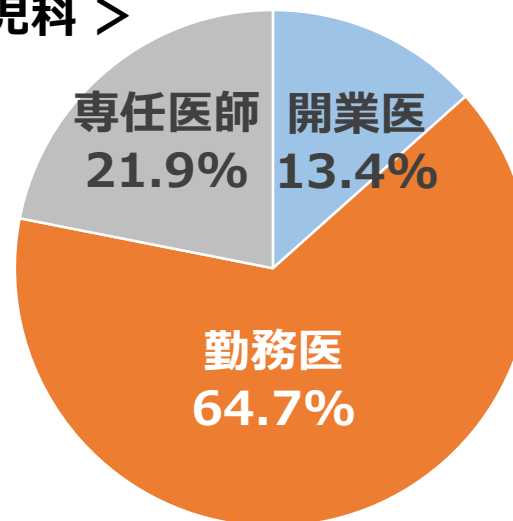
## 4. 急患診療センターにおける出勤者の割合

(令和4年度 内科・小児科出勤実績より)

< 内科 >



< 小児科 >



### ○福岡市医師会の取組み

- ・ 内科医会ご所属の開業医の先生方や福岡地区小児科医会ご所属の先生方への更なる出務の協力依頼
- ・ 新入会員の入会時の出務協力依頼
- ・ 出勤医に対する時間的・空間的・経済的勤務環境の改善

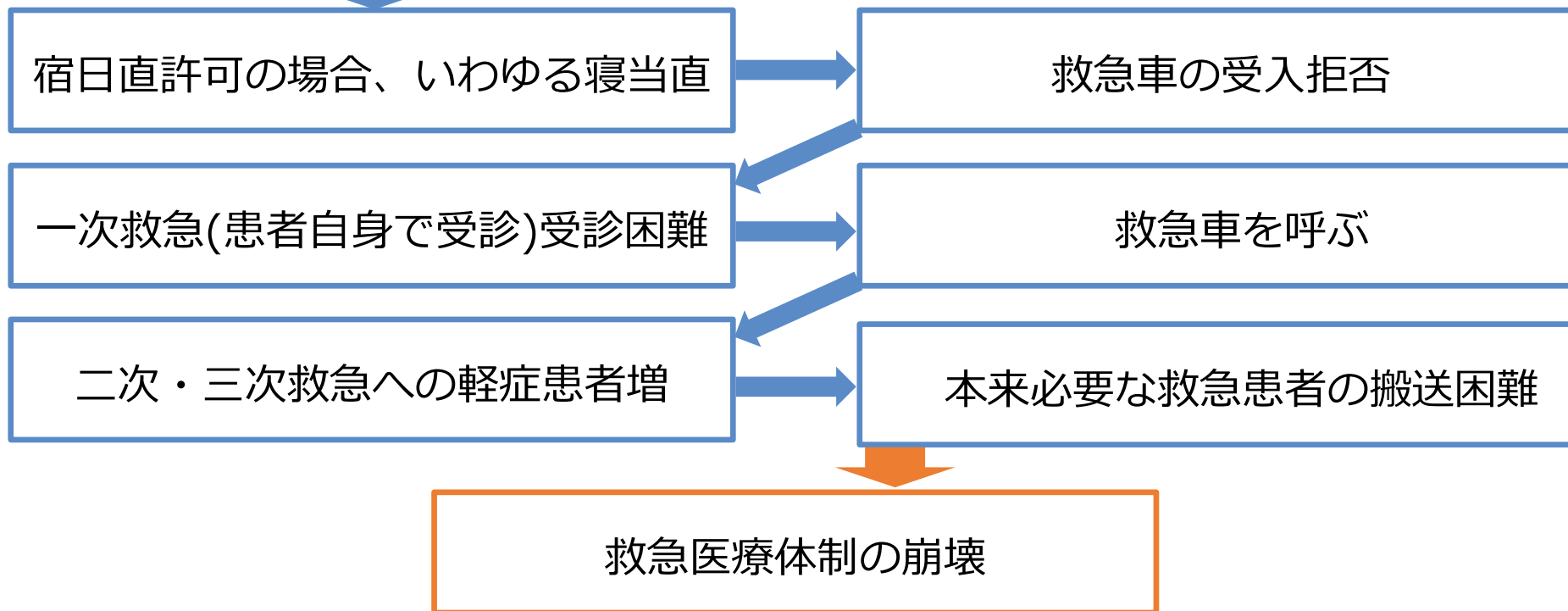
## 5. 回避すべき医療体制の崩壊

時間外勤務（勤務先医療機関と急患診療等の実働時間が合算）が制限



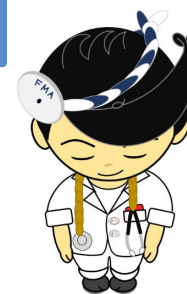
勤務間のインターバル9時間

急患診療や二次救急医療機関の医師確保困難



## 6. 市民の皆様へのお願い

- ・ **#8000**（こども医療電話相談事業）  
**#7119**（救急安心センター事業）の利用
- ・ **平日の日中時間帯にかかりつけ医**への受診
- ・ **救急車の適正利用** にご協力ください





報道機関からのご質問

- ・ 新型コロナ公費支援終了の影響と懸念  
5類移行後課題への取組み

## ○福岡市感染症発生報告数（定点報告）

※福岡市ホームページもとに作成

五類感染症（定点報告）疾病	福岡市（直近5週の定点当たり報告数）					福岡県	全国	警報 レベル	注意報 レベル
	R6年8週 2/19~2/25	R6年9週 2/26~3/3	R6年10週 3/4~3/10	R6年11週 3/11~3/17	R6年12週 3/18~3/24	R6年12週 3/18~3/24	R6年12週 3/18~3/24		
新型コロナウイルス感染症	7.14	5.00	5.82	5.33	5.06	4.90	5.21		
インフルエンザ	25.06	15.82	13.57	8.16	6.65	7.57	14.08	30	10
RSウイルス感染症	0.24	0.31	0.69	0.79	0.45	0.35	0.58		
咽頭結膜熱	0.21	0.34	0.45	0.41	0.28	0.52	0.70	3	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9.31	11.14	13.76	13.00	9.62	5.89	3.67	8	—
感染性胃腸炎	2.59	3.34	2.86	3.59	3.41	3.96	4.28	20	—
水痘	0.07	0.14	0.07	0.10	0.07	0.21	0.13	2	1
手足口病	0.10	0.38	0.34	0.48	0.52	0.29	0.17	5	—
伝染性紅斑	0.07	0.10	0.03	0.00	0.00	0.01	0.02	2	—
突発性発疹	0.10	0.14	0.28	0.38	0.10	0.32	0.21		
ヘルパンギーナ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.02	6	—
流行性耳下腺炎	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.03	6	3
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	1	—
流行性角結膜炎	0.14	0.00	0.43	0.29	0.14	0.38	0.41	8	—
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.02		
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.03		
マイコプラズマ肺炎	0.50	0.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.08		
クラミジア肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.02		

## ○ 5 類移行に伴う医療提供体制等について

厚労省資料より



福岡市医師会  
の取組み

対応医療機関の体制強化および新たな医療機関の参画を目的

- **外来対応に関する好事例集**公表
- **対応力強化WEBセミナー**のオンデマンド配信

○令和6年4月以降の新型コロナウイルス支援等について

厚労省資料を元に作成

対象	支援策	令和5年10月～令和6年3月	令和6年4月以降
患者	治療薬	上限額を超える部分を公費負担 (自己負担上限額) 3割:9,000円、2割:6,000円、1割:3,000円	公費負担終了 負担割合に応じた通常の自己負担
	入院医療費	高額医療費制度適用後に 最大1万円補助	
	ワクチン	特例臨時接種（自己負担なし）	65才以上の高齢者等を対象とした 定期接種（原則有料）
医療機関	病床確保料	重症・中等症Ⅱ (感染拡大に応じて支給)	確保病床によらない形での入院に移行 病床確保料なし
	診療報酬	特例措置あり	特例措置終了 恒常的な感染対応への見直し
	入院調整	原則、医療機関間で入院先決定	引き続き、医療機関間で入院先決定

**※医療費の自己負担増による受診控えがないよう適切に医療機関を受診することが重要**

## ○麻しん(はしか)について (1)

### <感染者数>

令和6年の麻しん感染者数累計（全数報告対象疾患（五類感染症））

国内：**21**件 福岡県内：0件（令和6年3月27日現在）

過去10年間の感染者数累計（国内）

国立感染症研究所感染症発生動向調査を元に作成

H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
462	35	165	186	279	744	10	6	6	28

日本は平成27年WHOにより麻しん排除状態と認定（以降の感染は海外からの輸入症例が発端）

### <感染経路等>

- ・ 感染経路・・・**空気感染、飛沫感染、接触感染**で人から人へ感染が伝播
- ・ 感染力・・・**非常に強く**、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症  
→ 発症者1人に対し12～14人が感染（インフルエンザは1～2人）
- ・ 予防方法・・・**ワクチン接種**が最も有効で、接種により95%程度の人が免疫を獲得

## ○麻疹(はしか)について (2)

### <症 状>

- ・感染後、約10日で**発熱や咳、鼻水**といった風邪のような症状
- ・2~3日熱が続いた後、**39℃以上の高熱と発疹**が出現
- ・肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症

### <感染が疑われるとき>

- ・事前に医療機関に電話連絡の上、マスクを着用して受診
- ・受診の際には、感染を拡大させないように公共交通機関等の利用はお控えください

### <定期予防接種>

**生後12月から生後24月** および **小学校就学前1年間** の**2回**接種 (平成18年度以降)

※昭和53年10月より麻疹定期予防接種導入 (導入当時は1回接種)

※2回接種していない方は任意での接種を検討ください (費用は自己負担)

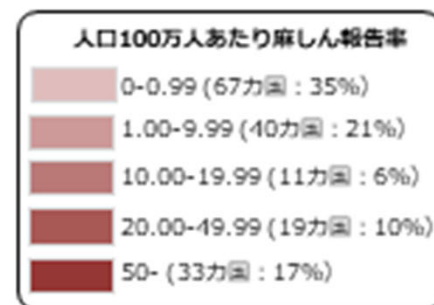
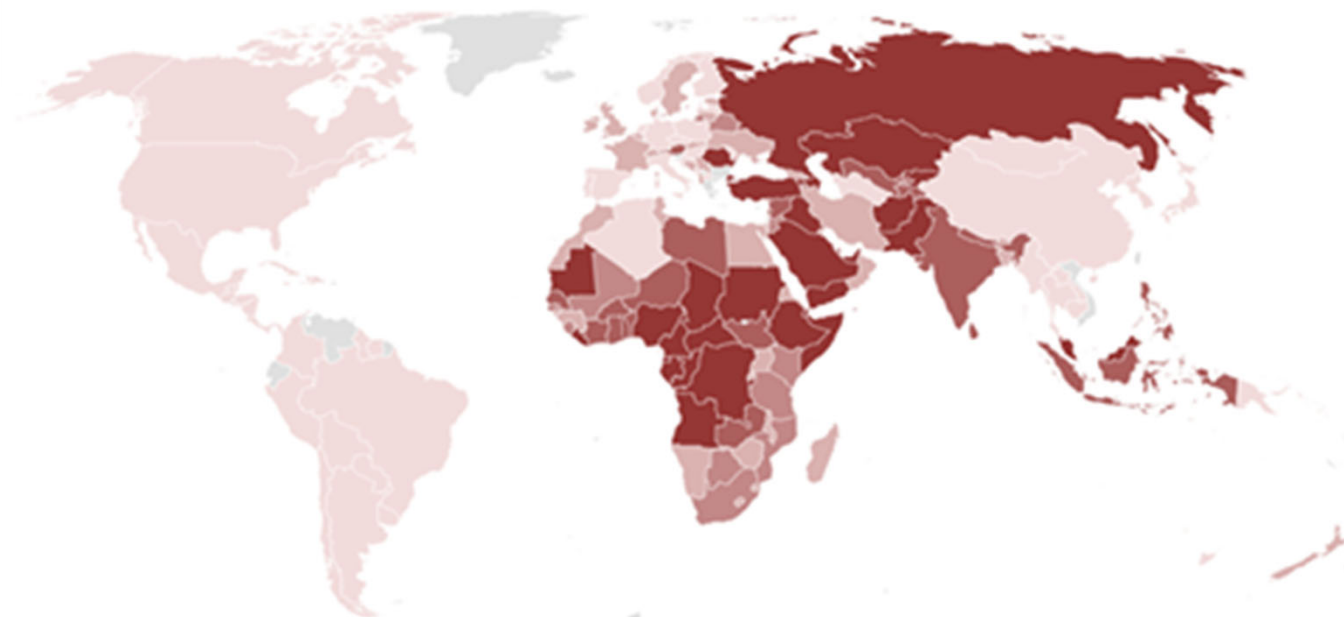
感染歴や予防接種歴が不明な場合は抗体検査を検討ください

## ○世界における麻疹の流行状況（令和5年1月～令和5年12月）

※厚労省ホームページより

### 麻疹人口あたり報告数 上位10の国々

国名	報告数	人口100万人 あたり 報告率
イエメン	47767	1386.57
アゼルバイジャン	13735	1319.07
キルギスタン	13195	1045.83
カザフスタン	15111	770.71
リベリア	3910	721.62
ガボン	1201	492.91
中央アフリカ	1534	267.14
カメルーン	6101	212.97
イラク	9367	205.85
アルメニア	554	199.43

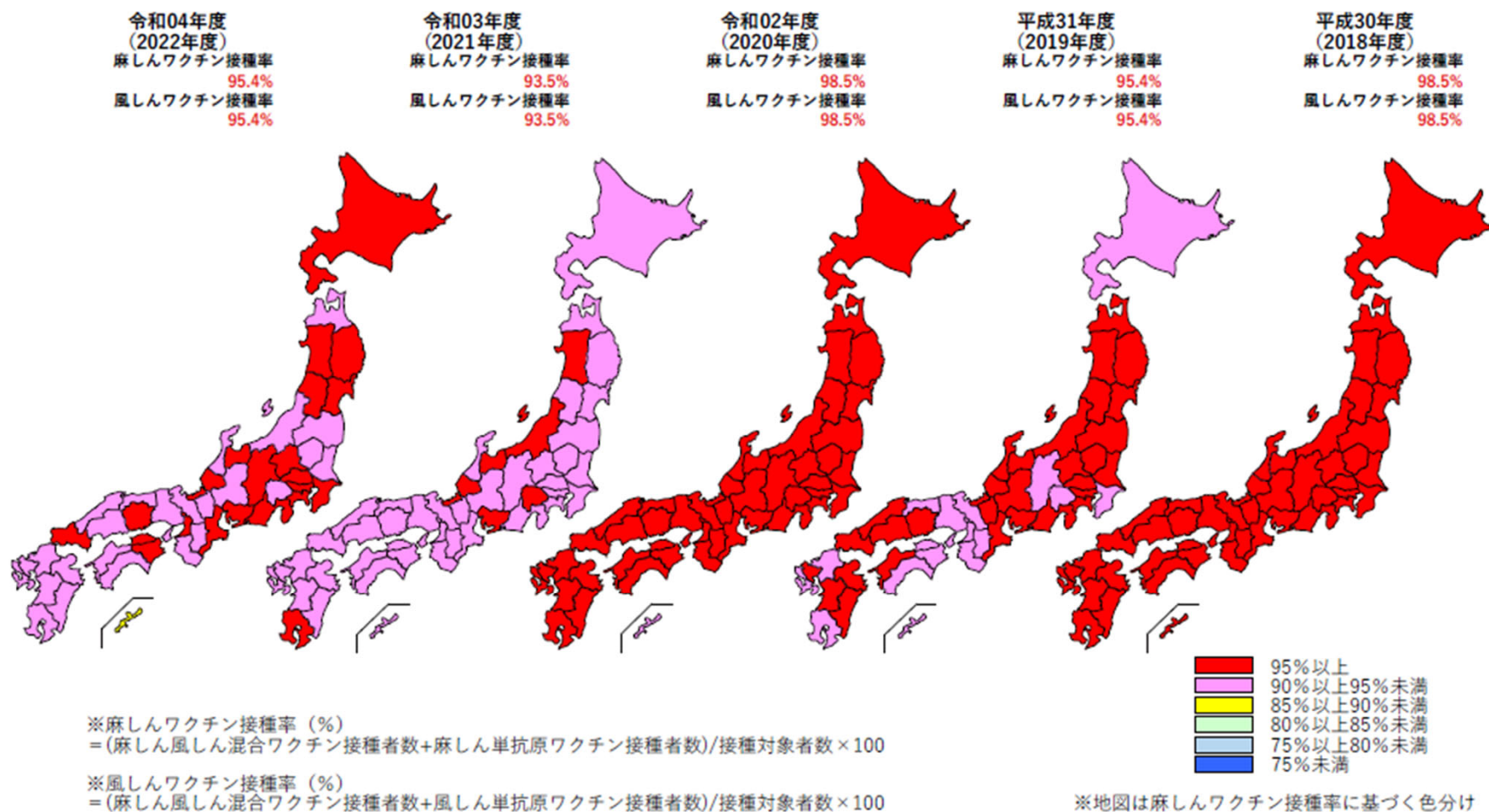


出典：WHO(世界保健機関) 麻疹人口10万人あたり報告率  
(令和5年2月現在；一部改定)

<https://www.who.int/teams/immunization-vaccines-and-biologicals/immunization-analysis-and-insights/surveillance/monitoring/provisional-monthly-measles-and-rubella-data>



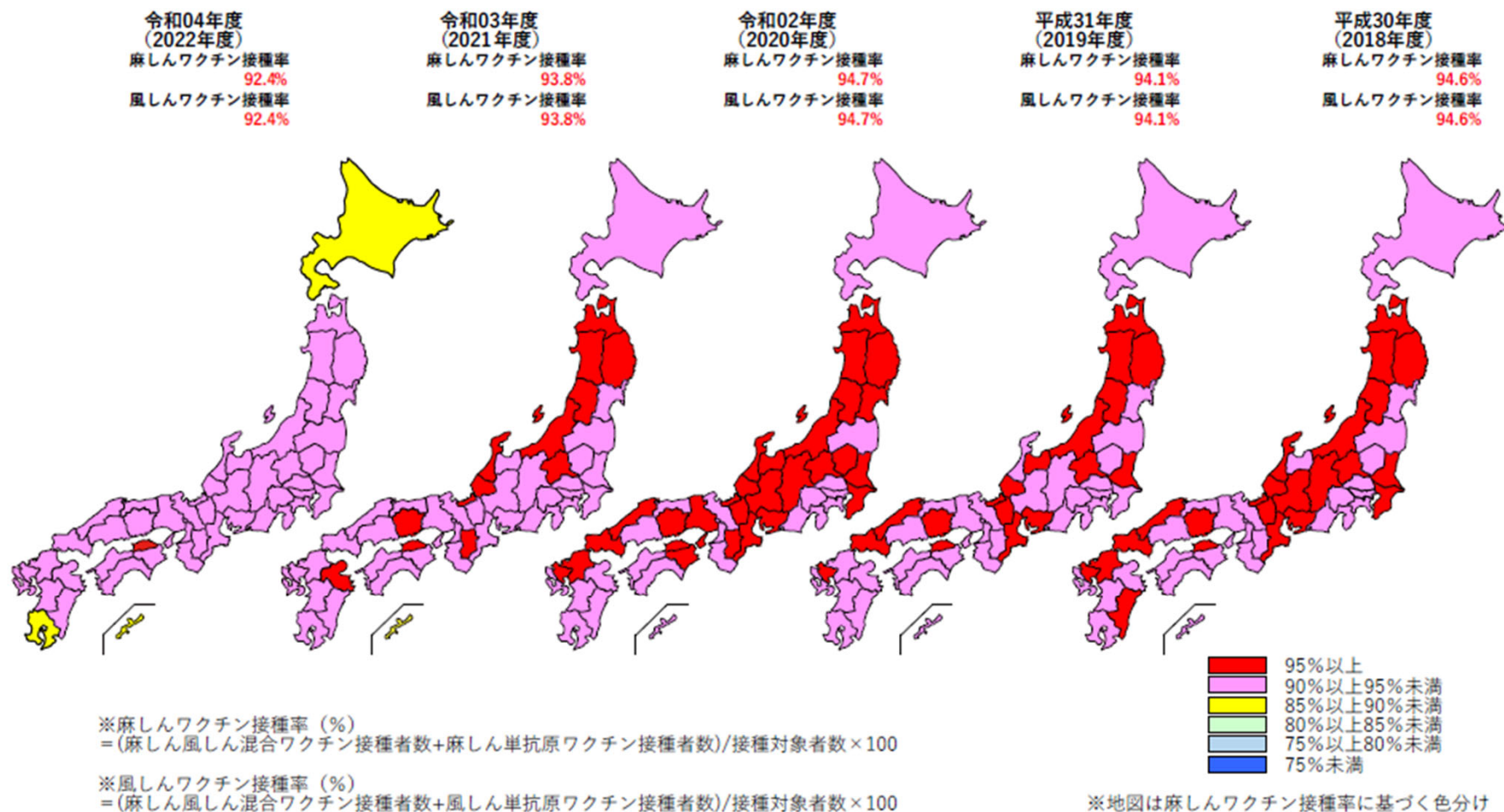
## ○第1期 麻しん風しんワクチン接種状況



厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、国立感染症研究所感染症疫学センター



## ○第2期 麻しん風しんワクチン接種状況



厚生労働省健康・生活衛生局感染症対策部予防接種課、国立感染症研究所感染症疫学センター